

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学・学部・所属ゼミナール名（フリガナ）		
フリガナ) アイチダイガク	フリガナ) ケイエイガクブ	フリガナ) ツチヤゼミ
愛知大学	経営学部	土屋ゼミ

※申込書に記入したチーム名から変更する場合は、新旧両方の名称を記入してください。

※企画シート提出後のチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数（代表者含む）
フリガナ) ソシテオレ	フリガナ) カトウ ユミコ	5人
そして俺！（旧：そして俺）	加藤 悠未子	

研究テーマ（発表タイトル）
ノスタルジアマーケティング～懐かしさの向こう側～

※必ず「企画シート作成上の注意」を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

初めにノスタルジアの定義、引き起こされる条件、有用性について説明します。実際にノスタルジアが付随された商品の事例を分析し、ノスタルジア商品の分類が「復刻商品」と「ノスタルジアコンビネーション」になること、さらに復刻商品を出すうえでの企業の限界点について説明します。そして、ノスタルジアコンビネーションには復刻商品の限界を超えた優位性があることが判明しました。そこで、ノスタルジアコンビネーション商品の作成マニュアルを提案させていただきます。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

ノスタルジアは主に社会学と消費者行動論の二つの方面から研究されてきました。懐かしさ感情によって商品に対する好意度と購買意図が高まることが実験から証明されており、実際にビジネスにおけるノスタルジアとしてこの有用性を用いた商品が販売されています。

ビジネスにどのようなノスタルジア商品が出ているかを調査し、分析した結果、ノスタルジア商品を「復刻商品」と「ノスタルジアコンビネーション」に分類できることが判明しました。

3. 研究テーマの課題

「復刻商品」が懐かしいという感情から購買されていることが判明しましたが、実際に「復刻商品」を販売するには、①過去にヒットした商品が必要である②企業の歴史が長くなければならない、という条件が必要となり、実行可能な企業は少数であることが判明しました。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

「復刻商品」に対する企業の限界点を解決するために「ノスタルジアコンビネーション」を提示します。「ノスタルジアコンビネーション」とは「過去と関連したもの（物、人、経験、考え）」と組み合わせてきた新商品や新サービスのことであり、復刻商品の限界点で挙げられる①過去にヒットした商品が必要である②企業の歴史が長くなければならない、という2点

を超えた優位性を持っています。過去のヒット商品という自社資源がなくとも、他のノスタルジアを喚起されるモノ・コトを組み合わせることで、企業はノスタルジア商品を販売することができる点が、ノスタルジアコンビネーションの強みであり、これにより、ノスタルジアを喚起する商品が容易に作れることが判明しました。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

ノスタルジアコンビネーション商品を作るために、当時話題となった言葉を博報堂、電通からそれぞれ集めました。この言葉が話題になった年代と、人が懐かしさを感じる年齢とを掛け合わせることで、世代ごとの懐かしい言葉を作成しました。

その言葉を分析した結果、言葉遊び型、デザイン連想型、機能連想型の3つに分類できることが判明しました。この3つの型に当てはめることで、ノスタルジアコンビネーション商品を作ることが容易となります。

6. 結果や今後の取り組み

これらの分析結果から企業が商材・事業規模問わず使うことができるようなノスタルジア商品の作成マニュアルを私たちが提案します。

7. 参考文献

- ・ 楽天リサーチ株式会社「復刻商品に関する自主調査」2012年4月
- ・ 博報堂 ことば社会年表 <http://timeline.kotobaology.jp/>
- ・ 電通 広告景気年表 http://www.dentsu.co.jp/books/ad_nenpyo/

西日本インカレ事務局への連絡事項

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1〜7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、西日本インカレ事務局への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、3ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、3ページ目までを渡します。

※大会参加申込み時点から、「参加メンバー」の変更があった場合、上記「西日本インカレ事務局への連絡事項」に記入してください。なお、本企画シート提出後のチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限り、ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日経BP社・日経BPマーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※その他、注意点については「企画シート・パワーポイントの作成および提出について」をご参照ください。